

# あおぞら21

出口  
EXIT  
2 上野吉無田  
Ueno-Yoshimuta

平成2年度宝くじ

災害公営住宅の買取り契約を可決(11月会議) … 2  
自分たちの畑は自分たちで守る!(政務活動報告) … 4

表紙:九州中央自動車道開通記念ウォークに約1,500人(12月8日)

11月定例会

30年12月17日

No.135

熊本・みふね町議会

# 災害公営住宅の買取り契約を可決

11月会議を11月8日に開催した。

条例1件、契約関係2件、町道の認定1件の議案4件を審議採決した。また、陳情2件は継続審査となった。

## 11月議会で決まったこと（11月8日）

議案号数	簡易議案名	概要	質疑・討論の有無	採決結果
議案62	御船町長等の給与の特例に関する条例の制定について	御船町長等の給料を減額するための条例制定	有	全会一致で可決
議案63	財産の取得について	御船町一丁目（Ⅱ期）地区災害公営住宅の買取りによる財産取得契約	有	全会一致で可決
議案64	工事請負変更契約の締結について	災害関連地域防災がけ崩れ対策（上野④）工事の変更契約	有	全会一致で可決
議案65	町道の路線認定について	路線番号第370号 上野吉無田インター1号線 路線番号第371号 上野吉無田インター2号線 路線番号第372号 上野吉無田インター3号線 路線番号第373号 上野吉無田インター4号線	無	全会一致で可決
陳情4	水越粒麦地区水道衛生環境改善に向けての陳情について	水越粒麦地区における水道衛生環境の改善	無	継続審査
陳情5	水越馬立赤松地区水道衛生環境改善に向けての陳情について	水越馬立赤松地区における水道衛生環境の改善	有	継続審査

給油カードの不正使用について

**中城議員** 給油カードの不正使用だが公用車管理はどうしているか。

**吉本総務課長** 総務で集中管理し台帳（車両日報）と給油カードを同時に職員に渡して運用している。

**中城議員** 総務課で管理ができるのか。

**吉本課長** 台帳と給油カードを一緒にしていたのが一番の問題。

管理と再発防止策は

**田上議員** どこの課で何台管理していて、全体で何台あるのか。

**吉本課長** 今その資料は、手元がない。すべての公用車が何台あるのか把握していない。

**田上議員** 後で台数を教えてほしい。管理は各課とも同様に行っているのか。

**吉本課長** 各課同様の管理台帳を作って運行記録をつけている。

**田上議員** 再発防止策は各課

とも同様に検討しているのか。

**吉本課長** 総務課の分だけだ。その他の課の運用では不正は起きない仕組みだ。

**吉本課長** 30年度の公用車は89台と積載車が35台。

**田上議員** 再発防止策を検討したメンバーは誰だ。

**吉本課長** 総務課の職員と事業所で1回行った。

**田上議員** 公用車を管理している課長を集めて行うべきではないのか。

**吉本課長** 管理徹底は課長会議の中で行っている。

## 給油カード

**町の財産を預けていいのか**

**沖議員** 給油カードは取り扱い上、町の何になるか。

**吉本課長** 給油ができるカードで現金の特性を持っているので財産になる。

**沖議員** 御船町の財産を事業所に預けておくことは、問題ではないのか。

**吉本課長** 事業所を信頼し、預けることで了解を得ている。

**沖議員** 今まで職員を信じ、今度は事業所を信じてやる。何も変わりはないではないか。

**吉本課長** もう一度協議し文書で取り交わす。

**沖議員** 問題になることが多々あるが議員に文書化して渡さないのか。

**吉本課長** この案件は、全員協議会で報告した。文書で議員に渡す予定はない。

**再発防止策は十分協議できているか**

**岩永議員** 再発防止策は今から検討するでいいのか。

**吉本課長** 台帳と給油カードを分離し給油カードが職員の手元に渡らないようにすることで、一定の防止策にはなる。しかし事業所が不正使用しないように今後協議並びに文書等での取り交わし等、そういったものを検討していきたい。

**岩永議員** 再発防止策は協議したというのが熟議というか、審議が十分になされたのか。

**吉本課長** 給油の事業所と、給油カードが職員の手に渡らないようにするにはどうしたらいいかを協議をした。

**岩永議員** どういう人が集まって何度協議し、どれぐらいの知恵を出し合って、再発防止策を考えたのか。

**吉本課長** 事業所に相談に行ったのは、総務課から1回限りである。

**岩永議員** 今の回答では納得できない。もう少し全庁で、職員全員が反省する気持ちで行わないと町長も納得するはずはない。町長も、もう少し指導をしてほしい。

**藤木町長** 一昨日職員へ処分を行った。全庁挙げてこの問題を協議していく。コンプライアンス問題の研修会も行う。

**伝票確認はやっていないのか**

**森田議員** 給油カードを使ったときに伝票が出るが、その伝票管理はどうしているのか。

**吉本課長** 発行された伝票を台帳に貼っている。

**森田議員** 伝票の突き合わせ確認は毎月やっていたのか。

**吉本課長** 30年度からその作業は行っているが、29年度は行っていなかった。

**森田議員** それが一番の問題だ。最終的には伝票の確認、それと日報との確認、この3つをすれば大体不正は防げたはずだ。

**積載車の管理はどうなっているか**

**田中議員** 積載車の予備のガソリンの保管はどうなっているか。

るか。

**吉本課長** 積載車の管理は、各分団、各班にお願いをしている。ガソリンが不足しているときは、その際に給油をしている。

**田中議員** 分団からの請求はどうなっているか。

**吉本課長** 給油所から直接総務課に請求となっている。

**田中議員** 給油は一括して同一給油所なのか、それぞれの地域の給油所なのか。

**吉本課長** それぞれの地域で給油を行っている。

**御船町一丁目Ⅱ期地区災害公営住宅の買取りについて**

**福永議員** URのときは2割上乘せした売買仮契約だったが今回はないのか。

**野口建設課長** 2割の割増分は含まれていない。

**福永議員** なぜ2割乗せないのか。

**野口課長** 町と建築業者との直接の売買契約のため。

**福永議員** 契約金額より上がることがないのか。

**野口課長** 提案業者からの提案額によって進められる。

**UR 物件と買取り物件で違いはあるのか**

**田上議員** 物価上昇率を加味していないが工期は大丈夫か。

**野口課長** 契約書の第5条、6条に抵触しない限り変更はないので大丈夫だ。

**田上議員** 今回の坪単価65万円とURの146万円は価格差があるが同じものができるのか。

**野口課長** どちらも中身の仕様は同様なので変わらない。

# 自分たちの畑は自分たちで守る！

御船町議会議員 岩永宏介

11月20日と21日の両日、議員5名（岩田、田中、田上、中城、岩永）で和歌山県田辺市と大阪市で有害鳥獣対策について調査研究活動を行った。

## 獣肉加工施設『ひなたの杜』を視察

田辺市上芳養（かみはや）地区では、柑橘や梅の園地をイノシシが荒らし回り、石垣が壊され耕作放棄地は増える、通学する子供の安全も脅かされるといった状況の中、2016年に「自分たちの畑は自分たちで守る！」と若手農家が捕獲チームを立ち上げた。

しかし、彼らは動物を殺処分することに苦しむ。悩んだ末に害獣の有効活用に思い至る。一方で『紀州ジビエ生産販売企業組合』は、解体処理施設の設置場所を探していた。両者の思いがもの見事につながり、同地区に獣肉加工施

設『ひなたの杜』が2018年2月に誕生する。今では、捕獲チームがくくりワナで捕らえたイノシシが『ひなたの杜』に運ばれ解体・精肉処理されている。

以上の説明を聞いた後、くくりワナ設置現場の見学、イノシシの解体処理の見学、最後にジビエ料理の試食をさせて頂いた。害獣捕獲→解体・精



獣肉加工施設「ひなたの杜」にて

肉→獣肉販売と理想的な流れが出来上がりつつある。

## 大阪ハンティングアカデミーを設立

大阪府狩猟会では、高齢化などによる狩猟者の減少が、増大する農林業被害の大きな要因になっていると捉え、これまでの楽しむ狩猟から、狩

猟を通じて社会に貢献することに認識を改め、2016年に狩猟者の養成を目的とする『大阪ハンティングアカデミー（OHA）』を設立した。現在では3期目を迎えている。この情報を得た私たちは大阪府猟友会の会長、理事、事務局長の要職にある4名の方々にお会いして、アカデミー設立の経緯、講師の陣容、講義内容、入校者の年齢や

志望の動機等を伺った。狩猟歴40年、55年の熟練ハンターが講師となって、一般教養をはじめ各専門科目を講義する。また、実際に各府県猟場に入って実技指導を行っている。すでに1期生、2期生あわせて114名を送り出し、現在は3期生（41名）を受け入れて養成している。

国はニホンジカとイノシシの生息頭数を2023年までに半減させる捕獲目標を立てている。大阪府猟友会のOHA設立はその趣旨に沿う先駆的なものであり、国には財政的な支援を期待したい。



大阪府猟友会事務局での研修の様子

# 日本一学力が高い村 秋田県東成瀬村

御船町議会議員 井本昭光

11月26日から28日にかけて、議員6名（井本、田端、清水、沖、池田、福永）で秋田県東成瀬村へ視察研修を行った。

日本一学力が高い村として有名な秋田県東成瀬村唯一の中学校、全校生徒65名の東成瀬中学校を視察した。

全国学力テストでいつも上位の成績を収める秋田県の中でも、一番の学力を誇るという東成瀬村は、秋田県と岩手県の県境にある人口約2,600人の山間の村である。

交通の便は決して良いとは言えないが、教育に関する視察が非常に多く、3日に1回は県内外、時には海外からの視察もあるという。我々の視察時も、山形県の先生が視察に来られていた。

約3時間半ほどの時間であったが、教育長、校長先生、教頭先生からお話を伺い、校内と、生徒たちの授業での様子を見て感じたことは、単にテストの点数を上げるための教育を行っていないことだった。

校内には、総合的な学習の時間を利用して生徒全員が自



授業の様子（東成瀬中学校）

ら課題を見つけ、研究し、解決方法を探った結果をまとめた壁新聞のようなポスターが、生徒自身による美しい字で書かれ、先生の評価を付けた上で張り出されていた。

それ以外にも、新商品開発や俳句、全員吹奏楽等々、数多くの取り組みがなされていた。

共通して言えることは、生徒たちに考えさせ、話し合わせ、発表させる、という教育方針が徹底されていることだろう。

その結果、すべての生徒に、考える力、コミュニ

ケーション能力、プレゼンテーション能力が身に付き、結果として学力テストの平均点を大きく引き上げているのであろう。

また、生徒による授業評価、いわゆる「先生の通信簿」がつけられていることにも驚かされた。

東成瀬中学校も公立学校であるから、校長先生を含め毎年3分の1近くの先生は交代する。

それでも、このような独自の教育方針を貫き、高い学力を維持するためには、教育委員会による強力なリーダーシップが欠かせない。

今回の視察は御船町の教育を考える上で、大変参考になる視察であり、御船町の教育関係者にも是非視察を勧めたいと感じた。



授業を視察

# 大型商業施設視察研修

御船町議会議員 塚本勝紀

11月27日から28日にかけて、議員2名（塚本、藤川）で京都市へ視察研修を行った。

京都市内にある大型商業施設の視察に行った。平成23年12月オープン、店内に診療所を併設する珍しい店舗である。大型商業施設は、県外からの客を引き寄せるまとめ買いがお得な大型会員制倉庫型店である。ここは、都市部であるため、敷地6,300坪で2～3階が駐車場となっているが、買い物客の殆どが大阪、岐阜等の県外ナンバー車両ばかりだった。休日やクリスマス時は多くの来客者で賑わうそうだ。周辺には、ショッピングできる施設や家族で楽しめる公園

が充実して、大型商業施設帰りに立ち寄れる場所が多い。

町では、熊本地震からの早期の復旧復興を目指すために、御船町震災復興計画を策定して、御船インターチェンジ東側の誘致を復興のシンボルと位置づけ、全庁体制で取り組んでいる。

具体的には、インターチェンジ周辺の地理的優位性を活かして、雇用の創出や税収の増加、定住の促進、財政の健全化につながるような、経済的波及効果が期待できる企業誘致の推進を図っていくこと

を位置づけている。

現在、我が町において、大型商業施設誘致の交渉が進められている。県内に限らず、鹿児島、宮崎あるいは福岡からも訪れることと思われる。御船インターチェンジ東側の企業誘致は、熊本県や御船町にとって大きな税収につながると考えられる。

いい話ばかりではないかもしれないが、町民のため、より良い方向を目指して、全員一致の協力体制のもと、実現の日を迎えることに大いに期待するものである。



視察の様子

# 11月の議会活動

月日	項目	参加者	場所等
1日 ～ 2日	監査委員全国研修会	監査委員	東京都
3日	第40回御船町文化祭	田端議長	カルチャーセンター
5日	全員協議会	全議員	審議会室
	災害復興支援特別委員会	委員	審議会室
6日 ～ 7日	上益城消防組合議会先進地視察研修	組合議員	福岡県
7日	兵庫県丹波市議会視察受入れ	田端議長	恐竜博物館
8日	11月議会	全議員	議場
	議会広報編集特別委員会	委員	議員控室
9日	上益城郡議会議員研修会・スポーツ大会	議員11名	嘉島町
13日	熊本県町村議会議員議長会 議会広報研修会	広報編集特別委員	グランメッセ熊本
14日 ～ 16日	御船地区衛生施設組合議会先進地視察研修	組合議員	新潟県
15日	長崎県川棚町議会視察受入れ	総務文教常任委員 福永議会改革推進委員長	審議会室
18日	第17回御船町民スポーツ大会	田端議長	御船小体育館
20日 ～ 22日	第62回町村議会議長全国大会及び郡議長会視察研修	田端議長	長野県 東京都
21日 ～ 22日	政務活動費視察研修	議員5名	和歌山県 大阪府
21日 ～ 22日	上益城郡監査委員連絡協議会視察研修	監査委員	大分県
26日 ～ 28日	政務活動費視察研修	議員6名	秋田県
27日 ～ 28日	政務活動費視察研修	議員2名	京都府
30日	平成30年度御船町議会研修会	議員13名	審議会室

かがやく



ひと

## 町の更なる発展に期待

下辺田見区は、70名を超える児童が毎朝、民生委員・児童委員や保護者の方に見送られ元気に登校している。先日、町外からの移住者の方が、「生活環境に恵まれた御船に移住して良かった。」と話しかけられた。私は、嬉しくなり、御船町の現状や今後発展する可能性について熱弁を振ったのは言うまでもない。

さて、御船町では、国道443号線バイパスが開通して以来、交通量が増大し、「御船警察署前交差点」では、混雑や渋滞も日常茶飯事となっている。また、バイパス沿いには、数多くの大型店舗が立ち並び、町内外から多くの買い物客が押し寄せ、活気溢れる町に生まれ変わったようだ。さらに、御船町では、九州中央自動車道の小池高山IC（山都中島西IC区間の開通、そして、「大型商業施設」の進出も計画されるなど、町発展の条件も揃いつつあり、これからが行政にとっての正念場となるであろう。御船町が更なる発展を目指すためには、行政（執行部）の手腕はもとより、町民の代表機関である町議会は、町民の意思が十分に生かされるよう「情」を捨て、確固たる「理性」を持って活動してもらいたい。



下辺田見  
町熊 博明さん  
(下辺田見区長)

### 議会の予定 1月

- 4日 仕事始め
- 6日 消防団出初め式
- 8日 議会運営委員会
- 11日 全員協議会(予定)
- 13日 成人式
- 15日 上益城郡議長会定例会
- 17日 議会(予定)
- 21～22日 九州中央自動車道  
提言活動(東京・福岡)

### 編集後記

11月13日に開かれた『熊本県町村議会広報コンクール・町村議会広報研修会』で、次のようなコメントを頂きました。

「議会に強い関心のある人には手応えがあるだろうし、そうでない人には硬くて取っつきにくいかもしれない。毎月発行の努力には敬意を表しつつも、やはり多くの人に読まれる広報を目指して改善を重ねてほしい。」

補足しますと、これは町村議会コンクールのために提出した本町の議会広報誌127号と130号を読まれた越地真一郎氏のものであります。氏の肩書は、皆さんよくご存知だと思いますので割愛します。このコメントに、「そだねー」とうなずかれた方も多いと思います。私も当たっているなあと思います。

考えてみるに、そもそも議会というところは硬くて、難しい事柄をたくさん扱う機関です。どうしても『広報誌

は硬くて取っつきにくい』ものになりがちです。しかし、チコちゃんから「ポーっと生きてんじゃねえよ!」とお叱りを受けないように、『多くの人に読まれる広報を目指して改善を重ねて』いきたいと思えます。

この一年間のご愛読に感謝致します。来年もどうぞよろしく願い申し上げます。

岩永宏介

### 議会広報編集特別委員会

発行責任者	田端 幸治
委員 長	岩永 宏介
副委員 長	中城 峯雄
委員 員	岩田 重成
委員 員	清水 聖
委員 員	田上 忍
委員 員	森田 優二